

奨励品種

りんどう白花晩生種「ポラーノホワイト(登録出願中)」

(野菜花き部)

1. 来歴および育成経過

園試保有の晩生系白色ササリンドウを母親に、園試保有の中生系白色エゾリンドウを父親に用い、良質切花用白色品種の育成を目的として昭和53年に種間交雑を行った。次年度より検定集団の養成を進め、昭和56年よりF1集団の特性調査を行い、花色、草姿に優れた5個体を選抜した。その後選抜個体の弱勢化がみられたことから、株の回復を待って、分枝の発生が多くその先端に白色花を着生する従来にない草姿の優良個体を再度選抜した。平成元年より選抜優良個体から茎頂培養によって増殖を進め、平成3年より養成された集団について特性調査を進めたところ、スプレータイプの白色リンドウ品種として有望であることを確認した。平成4年に品種登録申請を行った。

2. 特性の概要

- (1) 開花期：育成地(北上市)付近で9月下旬から10月上旬である。従来の白花品種「ホモイ」と比較して1ヶ月程度遅い。
- (2) 草丈：100～130cmで比較的揃う。
- (3) 茎：茎の太さ・強さは中程度である。茎色は、緑色の地色に赤紫色の着色が見られる。茎全体に側枝が発生する(1茎当り30本程度)が、中～下位に長いものがつく。3年株での立茎数は10～14本程度である。
- (4) 花：花形は鐘状で中程度の大きさである。高温時には花卉の先端が外反転する。花色は白であるが、花冠外面に淡緑色の縞模様がある。また、花冠の内外面に若干の斑点がある。開花は全体一斉である。
- (5) 葉：長さ7cm程度、幅3cm程度で大きすぎることはない。色は濃い光沢は少ない。
- (6) 増殖：栄養繁殖(組織培養、挿し木)による。

3. 奨励品種に採用したい理由

本県のリンドウ生産の中で青色系では早晩生の異なる品種を地域毎に組み合わせることによって、盆・秋彼岸を軸とする需要期に対応した高品質・長期出荷体制を確立している。

一方、物日需要だけでなく、日常的に利用されうるリンドウ品種の開発が望まれていた。「ポラーノホワイト」は「ホモイ」と比較するとスプレー咲といった従来にはない草姿をもち、開花期も1カ月程度遅い白系品種である。その優れた形質はアレンジメントなどに広く用いられることが期待され、本県リンドウの新しい需要拡大を可能とすることから本品種を奨励品種として採用したい。

3. 栽培上の留意点

- (1) 一代雑種品種であるため、圃場で得られた種子は変異が大きく栽培に利用できない。
- (2) 現地の増殖については挿し木繁殖とするが、親株や育苗中の管理において、特にアブラムシ防除を徹底する。
- (3) 側枝が破損しないよう収穫や調製時の取り扱いに注意する。
- (4) 側枝の発生が従来品種より多いことから株間を広めに定植する必要があるが、栽植距離等については今後検討する。

4. 適応地域（適応作型）

県下全域（露地普通栽培）

5. 試作データ（平成4～5年）

特性の概要

品種名	年次	開花期	開花順序	草丈 (cm)	茎の性状			側枝数	節間長
					太さ	強さ	色		
ホレーノ	4	10上	全体一斉	127	中	弱	竹黒	多	長
ホイト	5	9下	〃	130	〃	中	〃	〃	〃
	4	8下	下から	120	中	中	緑	少	長
ホモイ	5	8下	〃	105	〃	〃	〃	〃	〃

花冠の色 (内/外)	花冠外面 の縞模様	花冠外面 の斑点	花冠先端 の転回	花段数	花数の多い 位置	葉の色
白/白	有(淡緑色)	少	外反転	1	全	濃緑
〃	〃	〃	〃	1	〃	〃
白/白	無	無	竹外反転	6	上	濃緑
〃	〃	〃	〃	6	〃	〃

- (注) 1) 開花期：全体の50%程度開花した時期
 2) 茎の太さ：草丈の1/2の位置
 3) 茎の色：上部節間(2/3付近)の色
 4) 節間長：上部節間(2/3付近)の長さ
 5) 花段数：側枝を含まない